



西区これからのまちづくり

西区ゆめプロジェクト

“住み継ぎたいまち”



平成29年6月

西区ゆめプロジェクト策定 PT・新潟市西区役所

《 目 次 》

1. はじめに	2
2. 夢の区の姿	2
3. 実現に向けた取組みの方向（政策ツリー図）	3
(1) 海と風にいきるまち ～海の活用N o 1～	4
(2) “おもしろい”と“ふしぎ”が集まるまち ～面白い・不思議N o 1～	6
(3) 笑顔でつながる安心のまち ～安心N o 1～	8
4. まとめ	10

＜添付＞ エリア別デザイン画（図説入り）、枠デザイン、総覧図

◆ 資料編

1. 策定の推進体制	23
2. 策定の経過	24
3. 策定プロジェクトチームメンバー	25

1. はじめに

区制施行・政令市移行 10 周年を迎え、西区の更なる発展に向けて、次代を担う大学生らとの協働により、将来の夢の西区について展望を描きました。

夢の姿は、現在の子ども達、そして策定を行った大学生らが子育て世代となる概ね 10~20 年先の未来とし、こうあって欲しい、こうありたいと願う理想像を明らかにするため、「西区ゆめプロジェクト」と題し、予算や規制に捉われない自由な発想によりとりまとめました。

2. 夢の区の姿

少子高齢化の進展により、西区においても人口減少が予測される中、市外など他地域の方から住みたいと思われる魅力を持ち、住んでいる方々から住み続けたいと愛され、そして次世代に誇りをもって引き継がれていくまちを「住み継ぎたいまち」と表現し、具体的に目指す区の姿を 3 つの都市像にまとめました。

I. 海と風に生きるまち ~海の活用 No1~

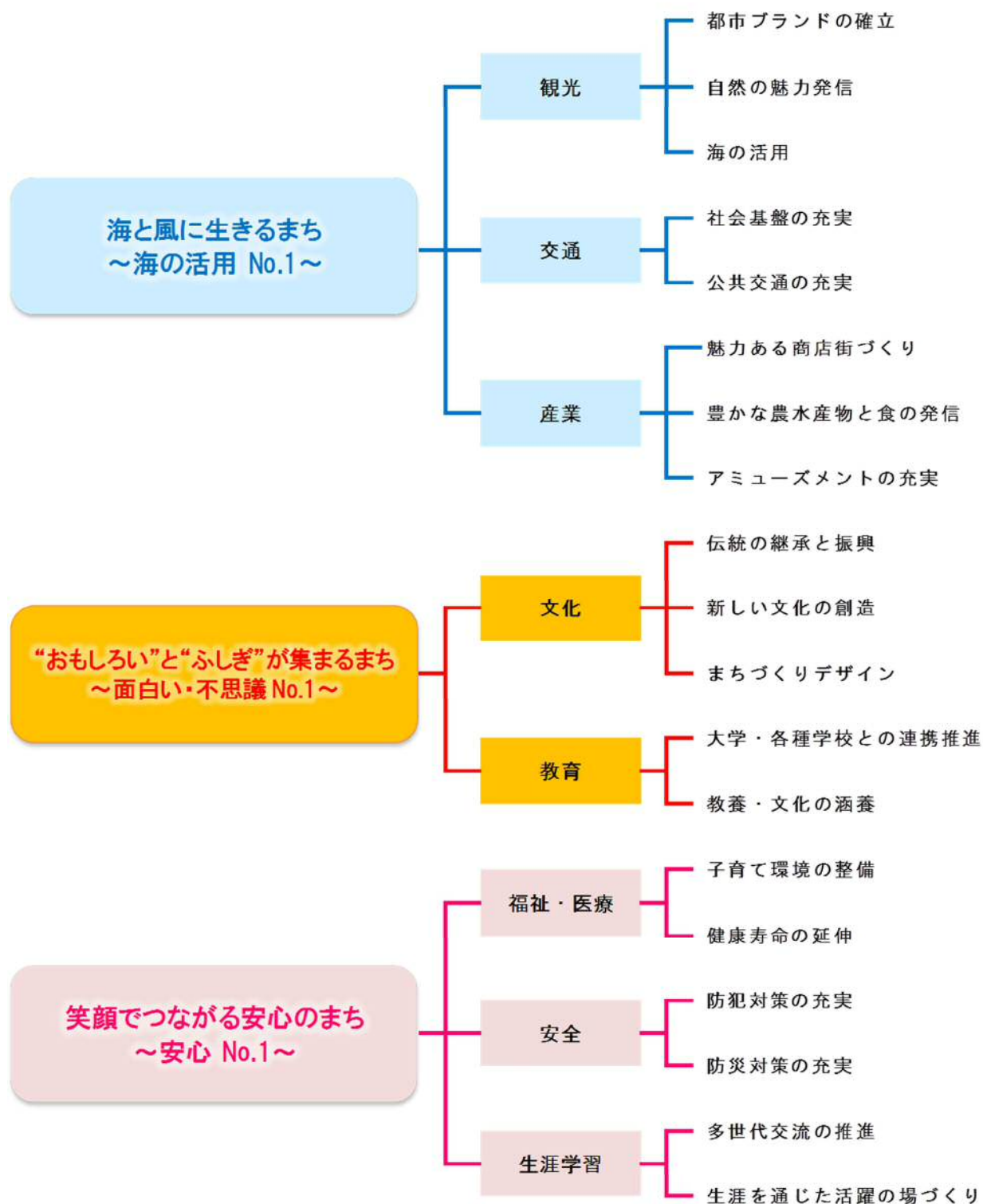
II. “おもしろい” と “ふしぎ” が集まるまち ~面白い・不思議 No1~

III. 笑顔でつながる安心のまち ~安心 No1~

3. 実現に向けた取組みの方向

目指す都市像ごとに、取り組む分野と取組みの方向を次のとおりまとめました。

《政策ツリー図》



I. 海と風に生きるまち

1. 観光

(1) 都市ブランドの確立

豊かな自然に育まれる「くろさき茶豆」や「いもジェンヌ」といった特産農産物や夕日など、たくさんの魅力が溢れる中で、日本中、世界中から訪れていただけるよう、PRポイントを収斂し、西区は「海」と「風」を都市ブランドとして、検索キーワードで全国1番のまちを目指します。

《具体的取組み》

- ・みんなで作る観光電子掲示板の設置(SNSによりリアルタイムで更新)
- ・アイドルをイメージボーイ、イメージガールとして活用

(2) 自然の魅力発信

海と風の都市ブランドの下、全国でも有数の砂丘列を有する地勢を生かし、西区に存するラムサール条約湿地「佐潟」など砂丘湖をはじめとする豊かな自然の魅力を発信します。

《具体的取組み》

- ・佐潟周辺など各所に自然と共存するフォトスポットの整備
- ・新川西川立体交差のレトロデザイン(レンガ調)の復活

(3) 海の活用

区のイメージカラーである「サンセットオレンジ」、約4万人もの集客を誇る「日本海夕日コンサート」など、西区民のアイデンティティともいえる海を活用したイベントの一層の充実を図るとともに、観光テーマパークなどのインフラ整備を実施します。

《具体的取組み》

- ・佐渡と西区を結ぶ大橋の整備(3層構造…①車道, ②軌道系交通機関, ③歩道等)
- ・中継地に、風力発電でまかなわれるテーマパーク人工島を整備(ex.風の谷のナウシカ)
- ・釣りが楽しめる海岸線の整備, イベントの創出

2. 交通

(1) 社会基盤の充実

区内にJR越後線7駅を擁するほか、区内を横断し、東西を結ぶ「西大通り」、
「国道116号線」、「西バイパス」のほか、南北を縦断する国道8号線など区内外
へ移動可能なインフラが整備されていますが、自動車によらずとも一層円滑な移
動が可能となるよう、自転車道や橋梁の整備、道路の拡幅など社会基盤の充実を
図ります。

《具体的取組み》

- ・自転車専用道路の整備(橋梁, 自転車バイパス)
- ・砂丘が楽しめるよう坂道に動く歩道を整備

(2) 公共交通の充実

坂井輪地区、西地区、黒埼地区の3地区で構成される西区では、自家用車によ
らずとも、こどもからお年寄りまで気軽にそれぞれの地区を移動できる公共交通
ネットワーク網の充実を図り、区内の一体感の更なる醸成と交流人口の増加に繋
げます。

《具体的取組み》

- ・バスなどにより、3地区を結ぶ環状交通網の整備
- ・公共交通機関の低額化(ワンコインで区内どこへでも移動が可能に)

3. 産業

(1) 魅力ある商店街づくり

地域内の利用だけでなく、地域外からの利用者増加を図るため、空き家など地
域資源を活用して昭和レトロ感を創出するなど、観光の視点を有した商店街、街
並みの整備を行い、「買うを楽しむまち」を目指します。

《具体的取組み》

- ・景観を統一した商店街，街並みの整備(ex.昭和レトロ横丁，黒電話，駄菓子屋，アメ横)
- ・空き家を使ったフリースペースやこども食堂の整備などにより，空き家をゼロに。
- ・地場生産者と連携した雨天時も1日中楽しめるような大規模ショッピングモールの整備

(2) 豊かな農水産物と食の発信

五十嵐浜のミズダコや，やわ肌ねぎ，県内有数の生産量を誇るブロッコリーなど豊かな農水産物の素材の美味しさと，これらに支えられる新潟ラーメンなど食文化の質の高さを発信し，「食を楽しむまち」を目指します。

《具体的取組み》

- ・ラーメン店が1カ所に集うラーメンタワーの整備
- ・地場生産者と連携した食の提供
- ・茶豆など食材の発信。これらを提供する飲み屋街の充実。

(3) アミューズメントの充実

降雪や曇天など天候に影響されず，観光客はもとより，住んでいる方々が楽しめる屋内アミューズメントを整備し，「遊ぶを楽しむまち」を目指します。

《具体的取組み》

- ・大規模イベントやスポーツが楽しめる屋内アミューズメント施設の整備
- ・子どもからお年寄りまで三世代で楽しめる内容の充実(ex.ゲームセンター，アイドルショップ)

Ⅱ. “おもしろい”と“ふしぎ”が集まるまち

1. 文化

(1) 伝統の承継と振興

緒立遺跡などを端緒とし，越後平野の新田開発などに支えられ育まれてきた地域の歴史と文化を大切にしつつ，新しい技術の活用等によって創意工夫を図りながら，赤塚太々神楽など地域の宝を次代に引き継いでいきます。

《具体的取組み》

- ・昭和レトロ横丁の整備
- ・美術館や文化財センターにおけるプロジェクションマッピングの実施，若者の誘客

(2) 新しい文化の創造

文化と歴史の薫りをそのままに，多様な文化を通じて様々な考えを許容し認め合う風土を耕し，若者をはじめ個性溢れる人材が活躍できるまちを目指します。

《具体的取組み》

- ・ラーメン講座など文化講座，イベントの実施(毎日展覧会，毎日祭り)
- ・ゆるキャラ大量発生イベントの実施(ex.スマホアプリとの連携)

(3) まちづくりデザイン

内野のまちを芸術で彩る「うちのD Eアート」の理念を大切に，温故知新を更に進め，区内各地域において，まち全体をフィールドとしてデザインし，交流人口の増大を図ります。

《具体的取組み》

- ・家屋そのものをアートで彩り，ゲームで利用されるような街並みを整備
- ・街全体脱出ゲームといったイベント実施
- ・新川西川立体交差や地域の史跡の復元
- ・学生など若者と連携してPR動画の作成・発信

2. 教育

(1) 大学・各種学校との連携推進

大学をはじめとした高度な学術研究機関の英知や人材を活かしたまちづくりを推進するとともに，土日や休講中など使用されていない大学や学校の施設を，各種イベントやワークショップなどまちづくり拠点として活用します。

《具体的取組み》

- ・地域に遍在する小中学校空き教室を活用したワークショップ，寺子屋の開催
- ・大学の講義室や図書館などを活用したイベント開催

(2) 教養・文化の涵養

子どもからお年寄りまで、デジタルデバイドや情報格差といった障壁を取り払い、誰もが、気軽に身近なところで文化と教養に触れることができる機会と場所の整備を行い、文化レベルの向上を図るとともに、誰もが学び合えるまちを目指します。

《具体的取組み》

- ・まち全体でフリーWi-Fiの整備
- ・空き家を活用したセカンドスペースの整備(ex.三条みんくる)
- ・小中学生の頃から地域に興味を持てるよう各地域の特徴を捉えたMAPの作成・配布(夏休み自由研究はかどりMAP)

Ⅲ. 笑顔でつながる安心のまち

1. 福祉・医療

(1) 子育て環境の整備

安心して子どもを産み育てることができるように、経済的負担の軽減や地域の交流や見守り等、子育て世代を支援する取組みが積極的に行われ、笑顔があふれるまちを目指します。

《具体的取組み》

- ・こどもの医療費をゼロに
- ・インターネットでの受診・往診予約ポータルサイトの開設

(2) 健康寿命の延伸

子どもや高齢者に関する施設の一体的な整備などにより、世代を越えた交流が日常的に行われ、誰もがいきいきと健康寿命を延ばし暮らせるまちを目指します。

《具体的取組み》

- ・幼保老連携のほか、医療が一体となった施設の整備
- ・介護施設とこども園が連携した就学環境の整備
- ・訪問介護の充実

2. 安全

(1) 防犯対策の充実

地域の防犯体制のさらなる強化や犯罪が発生しにくい環境の整備により、安心して生活できる犯罪のないまちを目指します。

《具体的取組み》

- ・地域住民が協力し、防犯パトロールや啓発を実施
- ・犯罪を抑止するために夜道を照らす街灯を多く整備

(2) 防災対策の充実

災害発生時の被害が最小限に抑えられるよう、平時からの防災啓発や減災を目的とした環境の整備により地域ぐるみで支え合う災害に強いまちを目指します。

《具体的取組み》

- ・防災訓練を始めとした定期的な啓発
- ・津波に備えて海岸道路や公園、住宅を高台に整備
- ・災害用備蓄の確保

3. 生涯学習

(1) 多世代交流の推進

子どもから高齢者まで幅広い世代が交流できる機会や場所づくりを進め、地域ぐるみで学び合うまちを目指します。

《具体的取組み》

- ・こども食堂や地域の茶の間を介した世代間交流
- ・子どもから高齢者、高齢者から子どもへ遊びを伝え合う機会の充実

(2) 生涯を通じた活躍の場づくり

誰でも学びたいことを学ぶことができる環境が整備され、学んだ内容を活かす場所がつくられた、生きがいにあふれたまちを目指します。

《具体的取組み》

- ・高齢者を始めとして誰もが学べる教育の場の充実

4. まとめ

目指す3つの都市像を実現した未来の夢の西区を、海岸エリア（坂井輪地区）、佐潟エリア（西地区）、新川・西川エリア（西地区）、信濃川エリア（黒埼地区）の4つの特徴的な地域ごとにデザイン画としてまとめました。

現実的には、法律の規制や財産権など様々な問題がありますが、実現可能性の議論を超えて、小中学生から大学生までの次代を担う世代が描く夢の理想像を、今後のまちづくりの展望の1つとしてみんなで共有されることを願っています。

《デザイン画 添付》

- 海岸エリア（坂井輪地区）、図解説明付き
- 佐潟エリア（西地区）、図解説明付き
- 新川・西川エリア（西地区）、図解説明付き
- 信濃川エリア（黒埼地区）、図解説明付き
- 枠デザイン（西区特産物8点）
- 4エリア総覧図、枠付き



海岸エリア(坂井輪地区)

坂井輪地区をはじめとする海岸エリアでは、特に、「海と風に生きるまち」を色濃く体現しています。新潟市西区は、海と風を都市ブランドとして確立して全国No.1を目指し、観光客はもとより、住んでいる方々が楽しみ合える海イベントが充実され、コンサート会場やテーマパーク、釣り場なども整備されています。

《佐渡と西区を結ぶ大橋》

西区と佐渡を陸路で結ぶ瀬戸大橋を上回る日本一長い大橋です。橋は3層構造で、上から1層が自転車道、2層が自動車道、3層が軌道系専用路となり、佐渡と連携した全天候型の観光ニーズに対応しています。西区への入口には発光式ウェルカムアーチが設置され、情報発信や各種イベントで活用します。



《洋上風力発電》

海岸部特有の風力の大きさを活かし、洋上に風力発電機を複数設置するほか、太陽光発電機を設け、必要な電力は再生可能エネルギーで賄われています。

また、この取組みと景観を、観光の視点からもPRを図ります。

《高台住宅配置》

飛砂被害を抑えながら、津波災害に備え、階段状に住宅の高台整備を図るとともに、平時からの防災訓練を定着し、避難体制を整えています。

Illustration by
奥野 咲子



佐潟エリア(西地区)

西地区の佐潟エリアでは、特に、「海と風に生きるまち」を色濃く体現しており、海と風の都市ブランドの下、全国有数の砂丘列により育まれた地形を生かし、ラムサール条約湿地「佐潟」など砂丘湖をはじめとする豊かな自然の魅力を発信します。また、この自然を守っていくのは「笑顔で繋がる安全なまち」の力です。

《豊かな自然と自転車専用道路》

ラムサール条約の精神の保全とウィズユースに基づき、環境に優しい自転車専用道路です。周辺には景勝地としてSNS等で発信可能な、フォトスポットが複数整備され、観光客や住民など多くの方より潟の魅力が共有されています。



《ツリーハウス》

コハクチョウの飛来湖である佐潟周辺のツリーハウスに宿泊し、潟ツーリズムとして、潟の魅力を間近で満喫することができます。西区特産の新潟すいかのデザインもあります。

《レジャー施設》

子どもから大人まで楽しめるプールアクティビティを備えた、自然と一体になった大型レジャー施設です。球状のドーム内には宿泊ホテルのほか、地場生産者と連携したレストランや、いもジェンヌなどを取扱う直売所が設置されています。

Illustration by
遠藤 里蘭



新川・西川エリア(内野地域)

内野地区をはじめとする新川・西川エリアでは、特に、「“おもしろい”と“ふしぎ”が集まるまち」を色濃く体現しており、温故知新の理念を大切に、空き家など地域資源を活用してまち全体を昭和レトロ感でデザインし、交流人口の拡大を図ります。文化と歴史の薫りをそのままに、多様な文化を通じて、子どもからお年寄りまで様々な考えを許容し認め合う風土を耕し、個性が生きる面白い・不思議No1のまちを目指します。

《新川・西川立体交差》

全国でも稀少とされる新川と西川の立体交差を、大正から昭和にかけて設置されたレンガ造りの「新川暗闇」により復元します。川には屋形船が浮かぶなど、まち全体が昭和レトロ感でデザインされ、行き交う観光客や住民を西区のイメージカラーであるサンセットオレンジが優しく包みます。



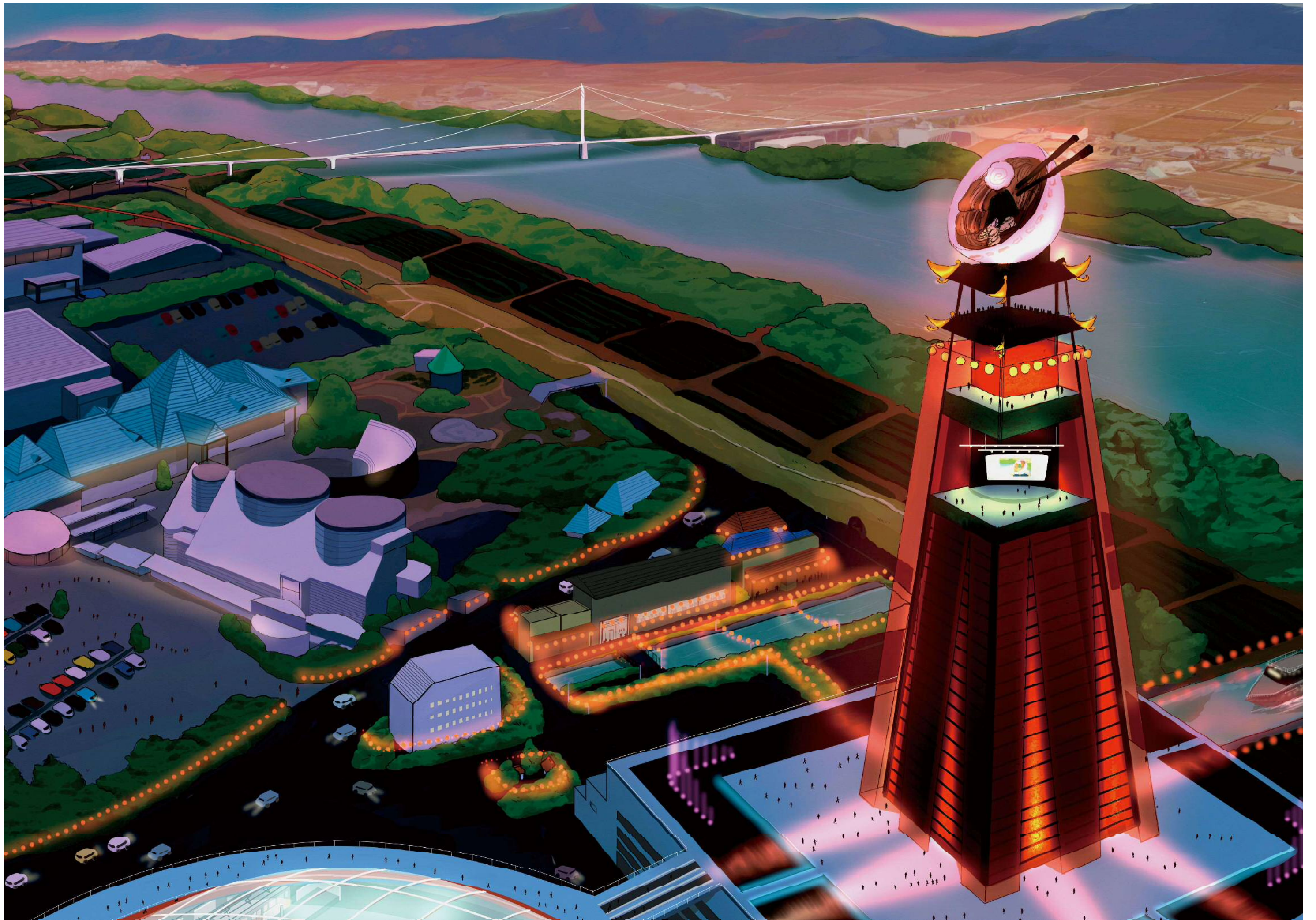
《文化会館》

空き家などを活用し、誰もが気軽に身近なところで、文化と教養に触れることのできる場と機会が整っています。また、まち全体でWi-Fiが整備され、SNSや動画を活用したタイムリーな情報発信が可能です。

《昭和レトロ横丁》

黒電話やオート三輪など、懐かしの昭和デザインで彩られた商店街です。多くの観光客の購買を支えるとともに、寺子屋やこども食堂なども遍在し、活発な世代間交流と地域の生活を支えています。

Illustration by
榎 瑞穂



信濃川エリア(黒埼地区)

黒埼地区をはじめとする信濃川エリアでは、特に、「笑顔でつながる安心のまち」と「海と風に生きるまち」を色濃く体現しており、IR推進法の活用など、産業の振興による活性化を図ります。また、LED街路灯の多数整備により、街は明るく照らし出され、防犯体制の強化など安心なまち全国No1を目指します。

《ランドマーク；ラーメンタワー》

ミズダコやブロッコリー、やわ肌ねぎなど豊かな農水産物の素材の美味しさと、これに支えられる新潟ラーメン等の食文化の質の高さを発信するシンボリックなラーメンタワーです。醤油味、味噌味などジャンル毎に、各フロアが多様な店舗で構成されています。

《タワー内部》

タワー内部には、ショッピングモールのほか、コンサートの開催も可能な大規模イベントフロアや、ゲームセンター、アイドルショップなど各種アミューズメント機能を備えています。降雪等の天候に影響されず、三世代が1日中楽しめる施設となります。

《タワー周辺部》

タワー周辺部には、くろさき茶豆など地場生産者と連携した飲食街が広がり、水路や軌道系専用路、自転車道が整備されるなどアクセスが容易となっています。

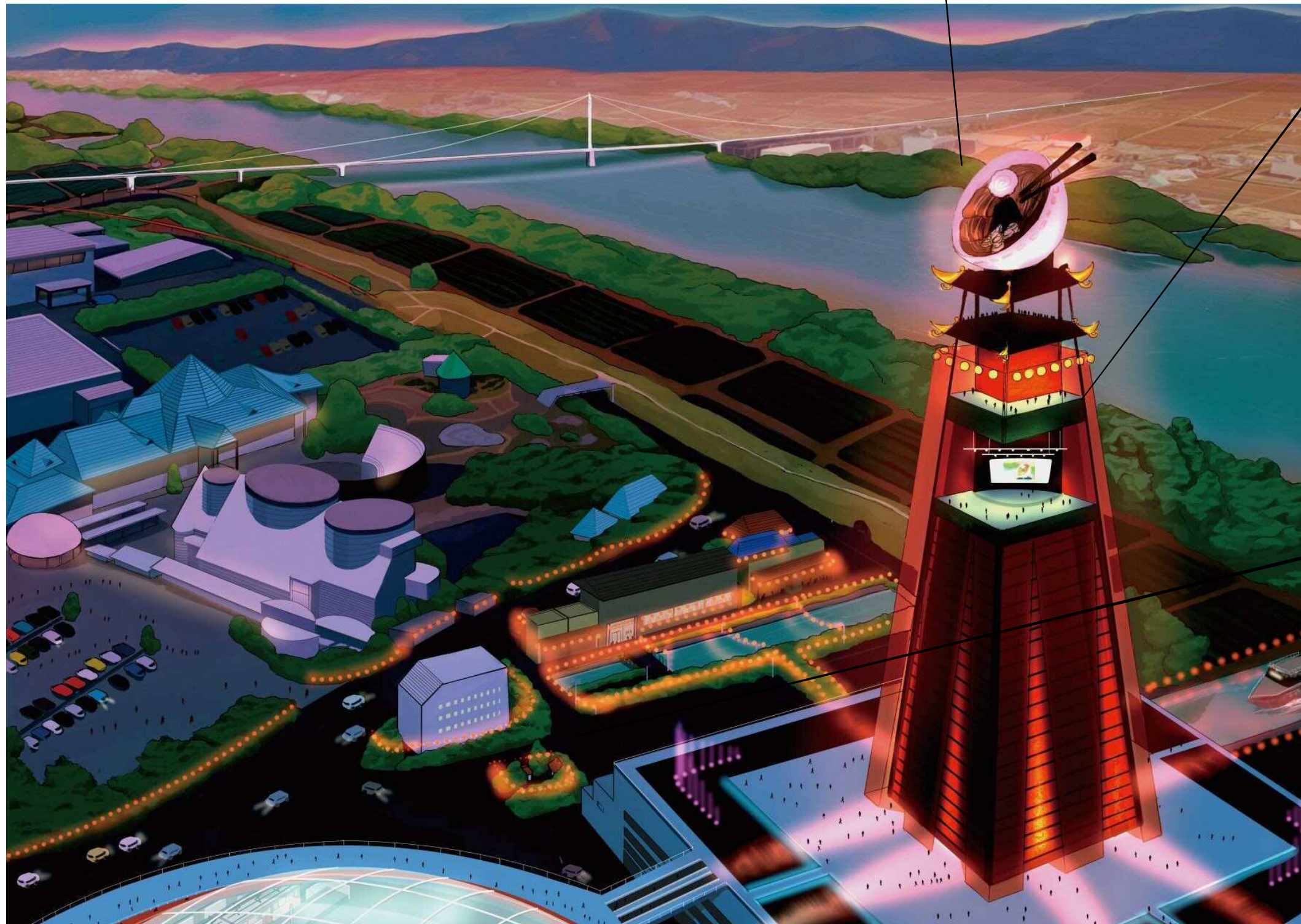
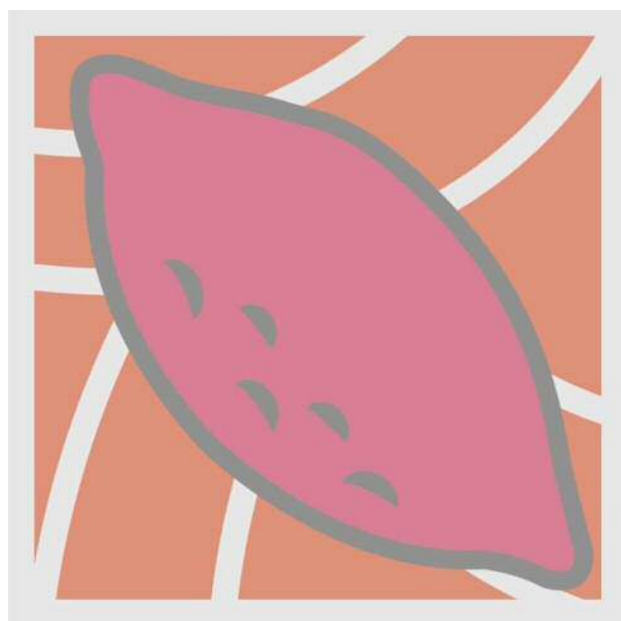


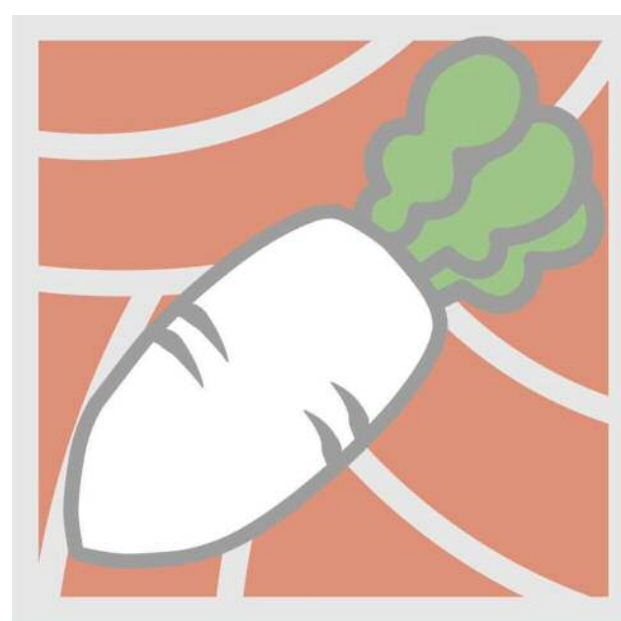
Illustration by
石田 唯

枠デザイン

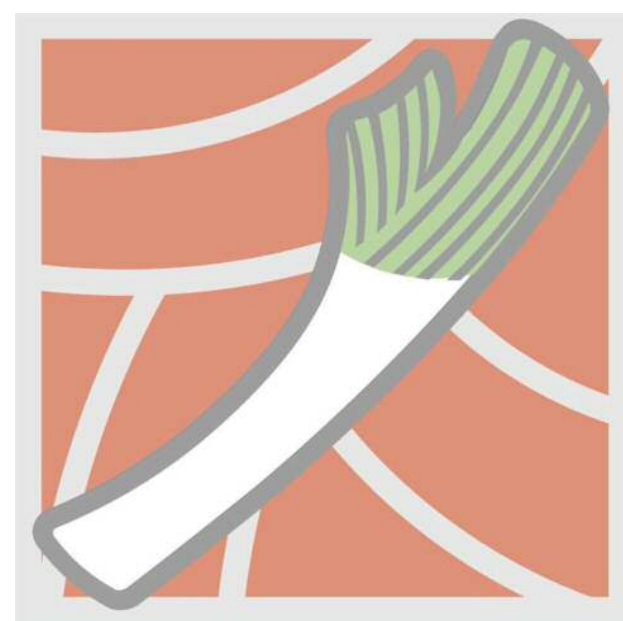
夢の姿であるエリア別の「デザイン画」をつなぐため、西区特産物を1つ1つタイルのようにデザインし、見切り線となる枠を作成しました。夢の姿とあわせて、未来に引き継ぐべき宝であるそれぞれ特産物の魅力を発信していきます。



① いもジェンヌ



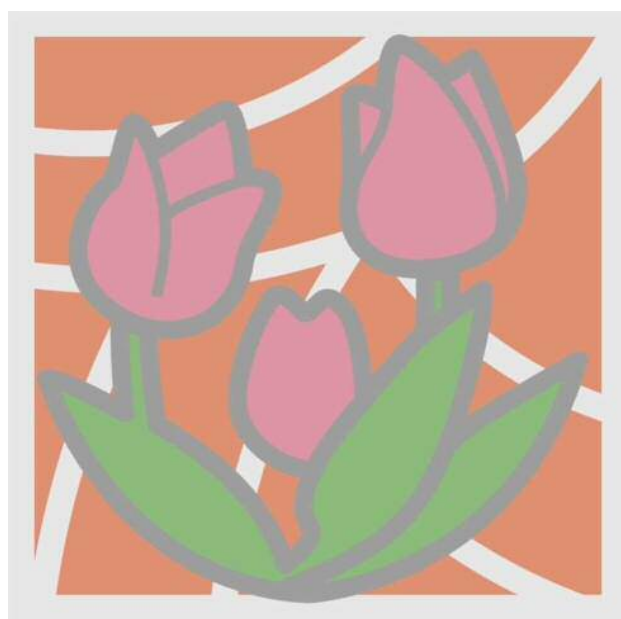
② 赤塚大根



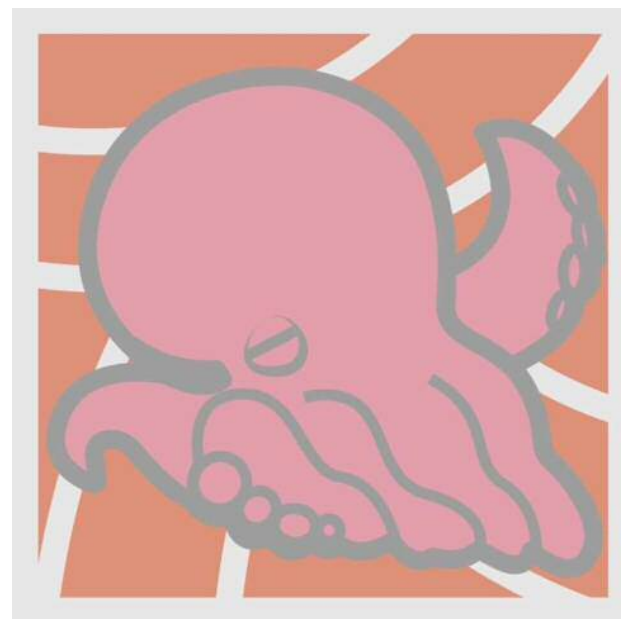
③ やわ肌ねぎ



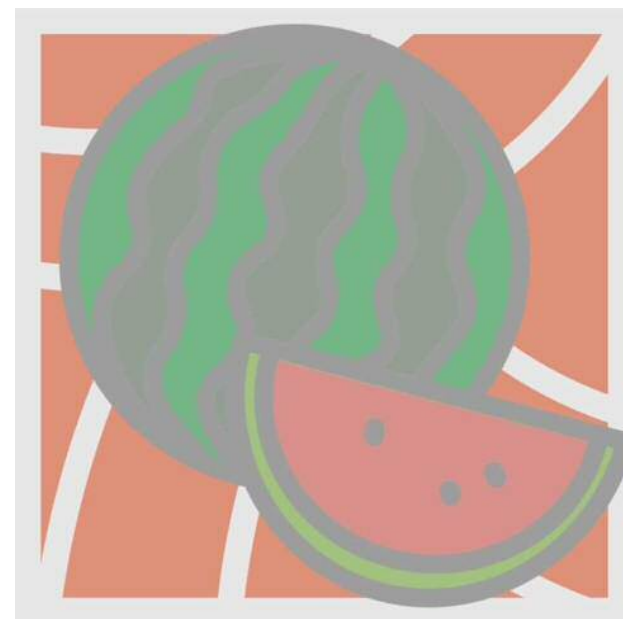
④ くろさき茶豆



⑤ チューリップ



⑥ ミズダコ



⑦ 新潟すいか



⑧ ブロッコリー



西区ゆめプロジェクト

“住み継ぎたいまち”



- 海と川に包まれるまち
- “おもしろい”と“おもしろ”が広がるまち
- 笑顔でつながるあたたかいまち



区制施行・政令市移行10周年を迎え、西区の更なる発展に向けて、次代を担う大学生らとの協働により、将来の夢の西区について展望を描きました。

夢の姿は、現在の子供達や策定を行った大学生らが子育て世代となる概ね10～20年先の未来とし、

こうあって欲しい、こうありたいと願う理想像を明らかにするため、「西区ゆめプロジェクト」と題し、自由な発想でとりまとめました。実現可能性の議論を超えて、小中学生から大学生までの次代を担う世代が描く夢の理想像を、今後のまちづくりの展望の1つとしてみんなで共有されることを願っています。




未来の夢の西区を、
 佐潟エリア(西地区) 左上
 新川・西川エリア(西地区) 右上
 信濃川エリア(黒崎地区) 左下
 海岸エリア(坂井輪地区) 右下
 の4つの特徴的な地域ごとにデザイン画として描いています。



西区ゆめプロジェクト

“住み継ぎたいまち”



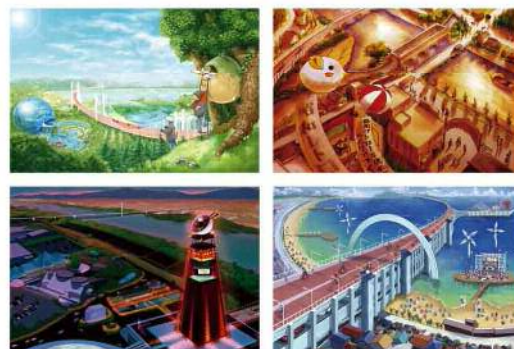
●海と風に生きるまち ●“おもしろい”と“ふしぎ”が集まるまち ●笑顔でつながる安心のまち



区制施行・政令市移行10周年を迎え、西区の更なる発展に向けて、次代を担う大学生らとの協働により、将来の夢の西区について展望を描きました。

夢の姿は、現在子ども達や策定を行った大学生らが子育て世代となる概ね10～20年先の未来とし、こうあって欲しい、こうありたいと願う理想像を明らかにするため、

「西区ゆめプロジェクト」と題し、自由な発想でとりまとめました。実現可能性の議論を超えて、小中学生から大学生までの次代を担う世代が描く夢の理想像を、今後のまちづくりの展望の1つとしてみんなで共有されることを願っています。



未来の夢の西区を、
 佐潟エリア(西地区) 左上
 新川・西川エリア(西地区) 右上
 信濃川エリア(黒崎地区) 左下
 海岸エリア(坂井輪地区) 右下
 の4つの特徴的な地域ごとにデザイン画として描いています。



西区ゆめプロジェクト

“住み継ぎたいまち”



- 海と風に生きるまち
- “おもしろい”と“ふしぎ”が集まるまち
- 笑顔でつながる安心のまち



区制施行・政令市移行10周年を迎え、西区の更なる発展に向けて、次代を担う大学生らとの協働により、将来の夢の西区について展望を描きました。夢の姿は、現在の子供達や策定を行った大学生らが子育て世代となる概ね10～20年先の未来とし、こうあって欲しい、こうありたいと願う理想像を明らかにするため、「西区ゆめプロジェクト」と題し、自由な発想でとりまとめました。実現可能性の議論を超えて、小中学生から大学生までの次代を担う世代が描く夢の理想像を、今後のまちづくりの展望の1つとしてみんなで共有されることを願っています。



未来の夢の西区を、
佐潟エリア（西地区）



信濃川エリア（黒埼地区）



新川・西川エリア（西地区）



海岸エリア（坂井輪地区）

の4つの特徴的な地域ごとに
デザイン画として描いています。



《 資料編 》

1. 策定の推進体制



➤区内4年制大学（新潟大学，新潟国際情報大学）との協働。大学生らによる策定プロジェクトチーム（以下，PTという。）の設置。

➤区内の小中学生らによるアイデア提出の反映。



2. 策定の経過

時期	検討主体	検討内容及び方法等
H28.8.3	区内各中学校	地域デザイン講座ジュニア版；ワークショップ テーマ「こんなまちに住みたいな！」
H29.2.3	小針小学校 6年生	キャリア教育；10年後の西区に期待すること
H29.2.8	小瀬小学校 6年生	キャリア教育；地域コミュニティへの願い
H29.3.8	P T ① ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> ◦小中学生アイディア，各種データの振り返り ◦西区の特徴の共有（強み・弱み分析） ◦将来の姿のイメージ；ブレーストーミング
H29.3.14	P T ② ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> ◦将来の姿のイメージを基に柱立て，分類 ◦方策の具体的アイディアの検討
H29.4.3	P T ③ ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> ◦骨子案とりまとめ ◦ラフデザインの構図，コンテンツの検討
H29.4.21	P T ④ ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> ◦中間報告案の確認 ◦デザイン案の確認
H29.5.16	P T ⑤ ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> ◦最終報告案の確認 ◦レイアウト確認



3. 策定プロジェクトチームメンバー（H29.3.31時点）

氏名	肩書き
【新潟大学】	
石田 唯	教育学部 芸術環境創造課程 3年
遠藤 里蘭	教育学部 芸術環境創造課程 3年
奥野 咲子	教育学部 芸術環境創造課程 3年
槇 瑞穂	教育学部 芸術環境創造課程 3年
【新潟国際情報大学】	
今井 幹人	情報文化学部 情報システム学科 4年
小林 直起	情報文化学部 情報システム学科 2年
星野 誠也	情報文化学部 情報システム学科 3年
渡辺 敏生	情報文化学部 情報システム学科 3年
【西区役所若手職員】	
加藤 瑞稀	区民生活課 戸籍係
佐藤 奈緒	健康福祉課 障がい福祉係
久保 悠貴	保護課 第1係
本田 皓司	農政商工課 商工振興係
坂井 亮	建設課 維持係
高橋 めぐみ	総務課 安心安全係